



関東発の「応援団」

「ハフォーマンス」で
多いに盛り上がる

原初典

静商第66回卒業式・23回目の同期会（第1回目は卒業15年目、その後1年半に1回開催）が3月9日静岡市・中島屋で開催されました。

さて
当日の進行に於いては司会者の特権で、たゞ
ぶり関東支部の美味しい味を活用させて戴きました。即ち、応援団O.B. & 手
アOGに出演をお願いし、そのパフォーマンスで会を盛り上げて戴きました。

先生・永田先生・小池先生の3名で合計9名の方にご出席戴き盛大に開催できました。

応援団O.B.&チアOGの会は、今回の出演を契機に、今後静商同期会で皆様のお役立てになればとの願いから、会員の若返り、更には増員を図るとのことです。

従つて、今年の関東支部総会にチアOGは倍増見込みとの事です、お楽しみ下さい。

ました。下山途中には、遠くの山あいに富士山も見ることができ、何か得をした気分でした。そして、学生時代の仲間との有意義な日に感謝した次第です。

今回参加をきっかけに、今年の関東支部総会に静岡から参加したいという女性もいて、今年の総会が楽

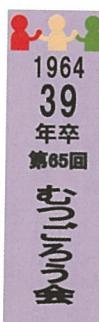
静岡から38名（女子6名）の参加で、一年ぶりの再会となり、宴会は大いに盛り上がり上りました。カラオケのトップバッターは、女性6名のコーラスグループで童謡唱歌「ふるさと・赤とんぼ等」熱唱で、笑顔の「アイドル」に拍手喝采でした。そして、あの「高校三年生」のメロディーが流れると一同、少年・少女の揃か

ルース」を「すざみながら、高原リゾートから荒磯風景が広がる城ヶ崎海岸へ、そして穏やかな相模湾を一望しながら、全員元気一杯でゴーリしました。

お楽しみの昼食は、「本家鮨屋」に集合し、新鮮な魚貝類に舌鼓しながら、地元のおいしいお酒を酌み交わしました。そして、『静商38関東会つていいなー』と来年の再会を約束して、握手で伊豆高原を後にしました。



写真は長尾健次さん 提供



青柳秀雄

運営幹事は2クラス毎の持ち回りで、今回は私のクラスが当番幹事に当たりました。私はここ数年仕事の関係で故郷静岡に行くことが多く、従つて頻繁に旧友を新たにしていました事もあり、今回の同期会運営にあたつては幹事役の一人として終始携わり、その関係から関東在住に関わらず司会役を仰せ遣りました。

当日の出席者は同期生が
丁度百名、遠くは広島や大
阪から、うち関東在住者は
関東支部総会で馴染みの者
が6名、一方で総会では殆
ど見かけない者が7名で合
計13名でした。

総会で殆ど見かけない者
のうち3名から本年の関東
支部総会への確約が得られ
ると言う、うれしい出来ご
とが有りました。ご来賓は
同窓会から平野同窓会長他
2名、学校長は笹原校長・
吉永前校長・斎藤前々校長
と3代の校長、恩師は牧田

フォーマンスは初めてとの事でしたが、先頭の旗振り役が関東支部総会でもお馴染みの同期生の安江さんであつた事から、出席者一同慣れないうがらも、「凱歌を挙げて」や「ビバ静商」等で輪になつて踊り、楽しいパフォーマンスで盛り上がり大変好評でした。さながら「ミニ関東支部総会」といった様相でした。お陰様で2年後の「卒業50周年同期会」に向け大きな弾みとなつた事間違いありませ
ん。

ました。早速皆で誘い合い、男性8名が参加することになりました。

静岡から同級生同士で結婚したI君夫婦など二十数名を乗せたバスが定刻通り登山口に到着。バスから降りてきた人々と久しぶりの再会を喜び合い、そして記念写真を撮った後、さあ登山開始です。急な階段もあつたが、約1時間ほどで山頂に到着。懐かしい友と弁当を開くと、皆すっかり学生時代に戻ったようになってしまって、会話が弾んでい



伊豆高原への旅

「同期会を開催して総会に参加しようキャンペーンの実施について」

組織部会では、平成 25 年度から当分の間、「初めて同期会を開催する年次の初回に限り、1 人当たり千円の補助金を交付するキャンペーンを行うこととしました。この補助金交付は、同期会の開催模様を会報に投稿を、お願いすることとします。補助金の請求等の詳細は、組織部会の以下の担当者に窓口下さい。

岡本 朗子（昭43年卒）
TEL：0474-63-9824
E-mail：naughty0712@yahoo.co.jp

金原 張尚（昭54年卒）
TEL：03-3750-1576
E-mail：kinpara.harunao@ip.fujitsu.com

若尾 剛志 (平6年卒)
TEL: 080-5379-0716
E-mail: nkaif023@vbb.ne.jp